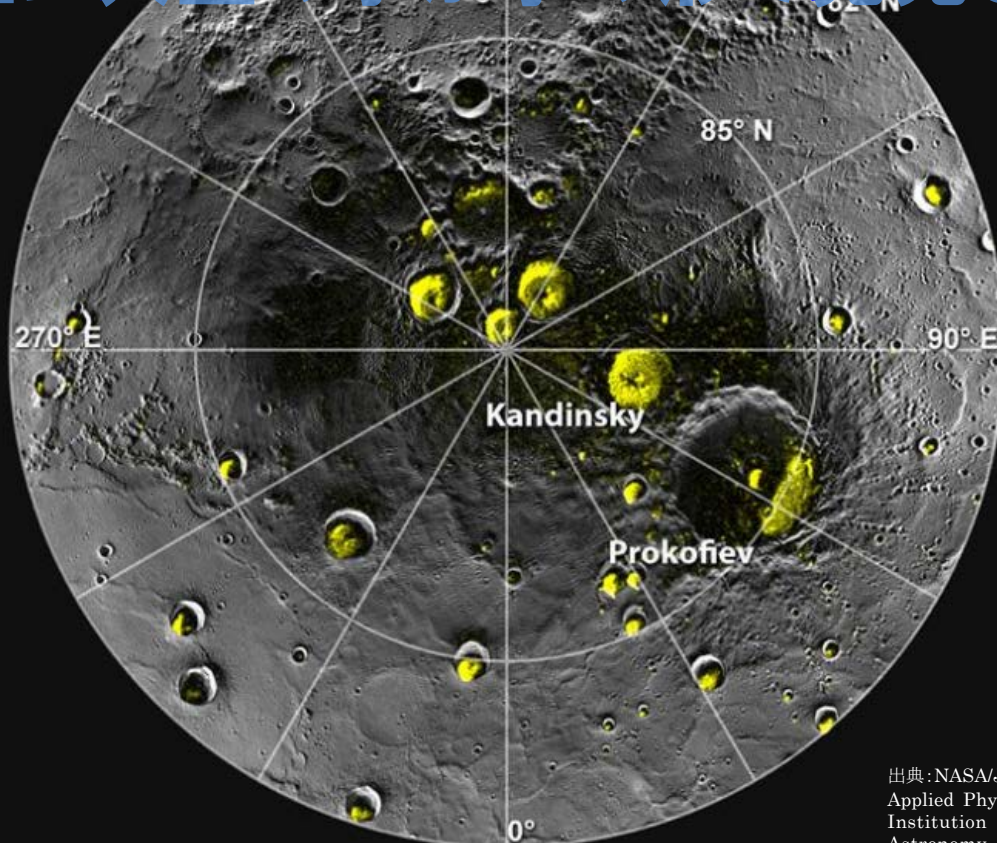


# アメリカの水星探査機「メッセンジャー」が確認 水星に大量の水が氷の形で発見される



出典: NASA/Johns Hopkins University Applied Physics Laboratory/Carnegie Institution of Washington/National Astronomy and Ionosphere Center,

水星の北極地方の画像に水の検出結果(黄色)を重ねあわせた画像

## 今回見つかった氷は、過去に水星に衝突した隕石が運んできたものとみられる

アメリカ航空宇宙局(NASA)は、11月29日、太陽系の中で最も太陽に近い惑星の水星に、大量の水が氷の形で存在していることを、水星探査機「メッセンジャー」の観測から確認した、と発表しました。

水星を周回しているメッセンジャーで複数の観測装置を使って水星の北極を調べた結果、太陽の光が届かない深いクレーターの地下などに大量の水素があることが分かりました。観測データを詳しく調べたところ、これらの水素の濃度が氷の持つ水素の濃度とほぼ同じであることから、水星には大量の氷の形で水が存在する、と結論づけられました。

水星に氷が存在する可能性については、1991年、プエルトリコにあるアレシボ天文台の電波望遠鏡を使った観測で指摘されていましたが、その存在を確認できたのは今回が初めてです。

今回見つかった氷は、過去の水星に衝突した隕石(いんせき)が運んできたものとみられ、水星全体では1,000億トン以上もの氷が存在する可能性があります。

水星には大気がほとんどないことから、水星に生命が存在する可能性は低いものの、NASAでは地球になぜ生命が誕生したのかを解明する有力な手がかりになることが期待されています。



NASAの水星探査機「メッセンジャー」(想像図)

さらに詳しく知りたい方はコチラ

宇宙情報センター/水星探査

[http://spaceinfo.jaxa.jp/ja/mercury\\_probes.html](http://spaceinfo.jaxa.jp/ja/mercury_probes.html)

【おすすめ図書】「惑星のきほん」



著者: 室井恭子/水谷有宏  
発行: 誠文堂新光社  
定価: 1,680 円  
ISBN: 978-4-416-20804-5  
惑星の特徴についてイラストと写真で優しく解説。

Spacei 宇宙かわら版 2012年11月30日号

問い合わせ先: Spacei事務局(財団法人日本宇宙フォーラム)

ホームページ: <http://www.spaceinfo.jp/> お問い合わせ: [https://www.science-event.jp/event/spacei\\_contact/](https://www.science-event.jp/event/spacei_contact/)

※特に断りのない限り日付は日本時間です。

Spacei